

日時 2012年7月4日(水) 正午～13時50分

場所 ホテルオークラ札幌B1 「中国料理 桃花林(とうかりん)」

講師 国土交通省北海道運輸局 局長 西川 健 様

本日は国土交通省北海道運輸局局長の西川健様を講師にお迎えし、「北海道勤務で感じたこと(北海道運輸局に勤務して考えること)」と題して、運輸行政の観点から北海道の運輸ならびに観光に関して、現状と対応策ならびに将来に向けた取組みなどにつき講演いただきました。

運輸行政における北海道のトップとしての、本質を見すえた見識と正義感に溢れた、正に率先垂範している公務の実状や、北海道観光の魅力向上にむけた戦略等のお話は大変興味深く、内容も盛りだくさんでした。当日は参加者も会場一杯となり、時間が短く感じられる充実した講演会でした。(概略は以下のとおりですが、内容も幅広く全てを網羅できていないことはご容赦ください)

ご講演いただきました西川局長ならびにご参加いただきました会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

1. 運輸局のミッションと役割

- (1) 陸運業、海事産業、観光振興等に係る広範な業務を所管しています。本局のほか7支局と2海事事務所があり、職員数は370名弱です。出張時に廃止鉄道の代替バス路線を使用し、身をもって北海道の地域交通の厳しい実情を実感するなど、出来る限り現場に出向いて考えるようにしています。
- (2) 運輸局の使命は次の3点に収斂し、これを三位一体として取り組んでいます。
 - ①事業規制～事案・状況に応じた健全かつ適切な協調と競争関係の構築
 - ②安全規制～運輸交通観光分野における安全・安心の確保
 - ③事業振興～運輸観光セクターにおける取りまとめ役としてのハブセンター機能

2. 安全安心への取組み

- (1) 安全安心は運輸サービスの基本であり、本年3月より、全国に先駆けて「優良運輸事業者利用促進キャンペーン」を展開しています。これは事業者団体等により優良であると認定された事業者を積極的に情報開示し、2550団体(道内市町村、教育委員会、経済団体等)に優良業者の積極的活用を呼びかけるものです。狙いは情報公開を徹底することにより利用者に賢明な選択をしていただくようにすることです。

平成24年4月29日に関越道バス事故が発生したこともあり、北海道運輸局のキャンペーンはマスコミにも大きく取上げられ、その先見的で行動的な取組みが全国的にも注目されています。本省及び他の運輸局においても同様のキャンペーンを立ち上げつつあります。

- (2) 平成17年に起きた福知山線脱線事故を教訓に「運輸安全マネジメント評価制度」が取り入れられました。この制度は安全安心なサービスを担保するために、運輸事業者が経営トップから現場まで一貫した安全管理体制を構築し継続的かつ向上的に運用されているかを評価するものです。経営トップへの面談調査には局長自らが臨むこととしているので、北海道運輸局の取組みは

本腰を入れたものだと運輸事業者からも受け止められていると考えられます。

3. 北海道観光の魅力向上

- (1) 北海道の社会経済情勢における課題は①「豊かな大地であるがゆえに、また雪や寒冷な気候による非効率性」②「札幌一極集中と全国を上回る高齢化・過疎化の進展」です。従って、グローバル化が進展するなかで、規格大量生産の産業はコスト面で北海道には相応しくありません。小規模高付加価値受注生産型事業が活路になると考えられます（観光産業でも同様）。
- (2) 北海道での観光消費額は1.3兆円と農業（1兆円）水産業（0.26兆円）の合算規模を上回りますが、パッケージ旅行から個人旅行（FIT）に中心が移ってきているので、団体旅行対応からの転換が必要です。北海道観光の課題は①季節変動差縮小、②高付加価値化、③リピーター率向上、④ロングステイ促進です。要は、「アジアで唯一、西欧田園地域の豊かなライフスタイルを享受できる地域」である北海道の本当の魅力を掘り起こし磨き上げ、オンリーワンにしてターゲットマーケティングすることです。
- (3) 観光振興には「よそ者、若者、バカ者」の視点と役割が必要で、また地域の連携・一体感が欠かせません。北海道運輸局ではこの役割を担うべく、ヴィジットジャパン事業、観光圏整備事業の他、局独自に複数のプロジェクトを推し進めています。

・【北海道観光掘り起こし・磨き上げコンテスト】

～「死ぬまでに何度も行きたい北海道」と思えるテーマルートの掘り起こし・磨き上げを道外の目利きが評価

・【飲むなら乗ろう、乗ったら飲もう！鉄道、バス、タクシーで北海道産酒類のある豊かな生活を！】

～ぐるなびと協力し、その特別サイトで道産ワインや日本酒の消費拡大と道内公共交通利用・旅行促進に資する情報を世界に発信

・【北海道の独自性打ち出しツアー造成】

～JRタワーやリフト、ゴンドラ、ロープウェイをめぐる見事な展望のパノラマビューツアーをJRデスティネーションキャンペーンで周知

・【北海道ロングステイ、船に乗って知り尽くそう】

～長期滞在を狙いに、船会社はもちろん自動車関連業界、高速道路、バス、JR、メディア等との連携検討中

（文責 渡辺知博）